

第14回波賀中学校区幼保一元化に係る地域の委員会

と き：平成29年2月21日（火）午後7時30分

と ころ：波賀市民局 2階第2会議室

発言者	議題・発言内容
事務局 会 長	<p>&lt;開会のあいさつ&gt;</p> <p>こんばんは。今年は大雪が大変でそろそろ暖くなるのかと思っていましたが、まだまだ寒さも厳しくまた、年度末で何かとお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。この委員会も14回目で、再開して2年になります。幼保一元化を推進するという方向は確認できましたが、どの様な園になるのか、どの様な園にしていくのかということは、中身が分からないまま皆さんが不安ということで、なかなか前に進んでいないのが現状です。その中で園のあり方ということで、前回市のこども園のあり方についてのガイドライン、また職員の配置、助成制度の説明がありましたが、今日はそのことも詰めていけたらいいなと思います。また、それぞれ各団体から出て居られるので、交代の時期が来ているかと思っています。連合自治会も任期で交代があり、私もその中の一人なので、こうして挨拶するのも最後になるかも分かりませんが、よろしくお願ひします。最後になる様でしたら、これまで色々と協議をしていただき、なかなか前に進んでいませんが、これまで皆さんの協力でこれまで来られたことを感謝します。今日は、市内一斉公募の応募の結果や状況の報告と、これからどの様に委員会を進めていくかということも併せて協議いただきたいと思っています。できれば2年間色々と協議いただきましたが、そのまとめの会になればと思いますので、よろしくお願ひします。また、寒い中なので9時半頃を目途に終わりたいと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>みなさんこんばんは。本日は夜分お疲れのところ、また寒い中、波賀地区の幼保一元化地域の委員会にご出席いただきありがとうございます。今年先ほど会長が言われました様に、稀に見る雪による雪害もあったと聞いています。この寒さの中、今年例年以上に春が待ち遠しいと感じる今日この頃であります。本委員会は昨年11月24日に開催して3ヶ月経つことになりました。この間教育委員会では波賀を除く市内の中学校区で、認可保育所に対しまして、こども園の運営者を募集させていただきました。その結果は後ほど報告させていただきますが、民間の保育所の方々も少子化の中で、どの様に今まで培ってきた保育を続けられるかということを探っておられるということが分かりました。市の方も民間保育所と一緒に宍粟の子育て環境の整備を進めなければならないと改めて感じたところで</p>

	<p>す。波賀の委員会におかれましては、幼保一元化を進めることは賛成だが、不安を解消してから進みたいという声が多く、市内の運営法人の一斉公募には含めていませんが、教育委員会としましては波賀中学校区も、市内の他の校区と同様に運営を希望する法人の方から具体的な経営、また、保育方針を聞いていただきまして、それで議論していただきたいという想いは変わっていません。今後、同意がいただける様でしたら、今から一宮北、戸原で行う 2 次募集に合わせてでも公募ということになればと考えています。本日はそのご意見もお伺いしたいと思っております。また、年度末になりまして、卒業、卒園の時期となりました。本委員会でも役職の交代の時期となっております。来年度の幼保一元化に対しましても、円滑な引継ぎができますよう事務局としてもお願いするところであります。本日はご協議の程よろしく申し上げます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは協議事項に入りますので、これ以降につきましては会長の方で進行をよろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、3 番目の協議事項に入りたいと思います。最初に宍粟市幼保一元化推進計画に係る運営法人の募集結果についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;資料に基づいた結果の説明&gt;</p>
会長	<p>ありがとうございます。公募の結果について報告がありましたが、皆さん何かご意見や質問等がありましたらお願いします。ないようですので少し聞かせていただきます。2 次募集ですが、部長の挨拶の中でできれば波賀もそこに入れたらということでしたが、決まっていれば、いつ頃を考えておられるかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>まだ、正式な公表はしていませんが、3 月に入って 2 ヶ月程度と考えています。</p>
会長	<p>ということは、すぐに決まらないといけないので、波賀は別と考えてよろしいか。</p>
事務局	<p>もし同意が得られれば、対象は違いますがこの 2 次募集に併せて公募という動きがとれるのではないかという風に思っています。</p>
副会長	<p>今、話がありました関連ですが、まず最初に一宮北と戸原も含めて公募されて、応募者がなかったというのは、原因とか要因の検証、分析はされたのですか。それと、1 次募集でダメだったら 2 次募集をかける時に、募集に対する要項で同じことをされて、恐らく無かったら 2 次、3 次、4 次があるのか。</p>
事務局	<p>これまでもご説明をさせていただいておりますが、本日の資料の 4 ページをご覧くださいながら説明をさせていただきます。まず、宍粟市認定こども園運営ガイドラインの方で募集の仕方を定めておりまして、1 次募集</p>

副会長	<p>というのは、保育所運営の実績を考慮して市内で保育所を運営する社会福祉法人等を対象に募集をさせていただくということで、それが 10 法人あります。2 次募集というのは、それ以外の市内の社会福祉法人又は、今後地域で新たに設置される社会福祉法人を対象に募集をさせていただきます。それで、募集の要件としましてはここまでです。先程ご質問にあった様に第 3 次募集、第 4 次募集というのは今のところ考えておりません。例えば市外に対象者を広げてということは考えていません。</p> <p>それなら、今話された第 1 次募集で 15 日に出された分プラス、2 次募集でそれ以外に候補者を募ってされるということでしょうけれど、2 次で応募者が無かったとすれば公立でスタートするのですか。</p>
事務局	<p>はい。以前も説明したかと思いますが、2 次募集で無い場合は、最終的には市が責任を持つということになりますと、公立も含めた運営も対象になります。</p>
副会長	<p>千種は既にこども園でスタートしていますけれど、こういう風なことが出来てくれば、宍粟市全体の目線として平等的なことは担保できないので、それをどういう風に市の教育委員会は考えてクリアしようと考えておられるのか。あの地区では市が公立でやっているということになった時に、市の考え方はどういう風になりますか。</p>
事務局	<p>これまでも所々で申し上げているのですが、認定こども園は県知事が認可をする訳ですが、その運営主体が公立であっても社会福祉法人であっても、認可をしたこども園であるということに変わりはなく、そこで行われるのは幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づく幼児教育と保育なのです。更に公立の場合は、市費で運営費を直接賄いますけれど、民間の場合には、国が定めた保育単価によって運営をさせていただくということで、そこで行われる保育については、児童福祉法の規定により市が保育の責任を持つということに変わりませんので、担当課としては、社会福祉法人が運営するこども園であっても、公立のこども園であっても、同じ幼児教育・保育施設であるということで、差があるという風に考えておりません。それで、再編された後の幼児教育・保育が、市内で同じ目線で同じ質の高い幼児教育・保育が提供できる様に、民間と教育委員会が連携をして保育の質を担保していくことが大事なことだと考えています。</p>
副会長	<p>分かりました。それで先程言いました、受け皿がない地区の応募がなかった原因の検証をはっきり応えてもらっていないと思うのですが、なぜそこは受け皿がなかったのか。その受け皿がなかった一宮北地区で、子どもが何人居られて、将来展望がどういう風に推移していくのかも含めて、恐らく、新しいところに応募して、子どもも少ないし将来的に増える見込もな</p>

事務局	<p>いし、そこで受け皿としてやっていく自信が無いから応募がなかったのか、それ以外の要因があるのか、その検証をされたのかということを知らせて欲しい。</p> <p>今回の公募にあたりまして、10の法人とそれぞれ面談をさせていただき、意向の調査をさせていただきました。その中で感じたのは、それぞれの法人が今の自分の園運営をどうするかということを一に考えておられます。1つははっきりしているのは、この少子化が進む中で2園運営。今の保育園はそのまま運営をしながら、離れた場所でもう1箇所事業拡大と投資をして、そこの幼児教育・保育を担っていくという考えを持たれている園はありませんでした。また、認定こども園というのは学校施設になりまして、宍粟市内には私立の幼稚園はないので、幼稚園教育の経験というのはどの法人も持たれていませんので、今の保育園のこどもを大切にしながら、幼児教育の勉強をさせていただいて、幼稚園機能を持たず形で園の運営を考えていきたいというのが、この6法人の回答であります。今の園が山崎や一宮にある訳ですが、その他のところへもう1箇所事業拡大をする意向は無かったということです。</p>
副会長	<p>市の方はそれをお願いしていくという風な、極端に言えば言葉が悪いけれど、美味しいとこだけ食べればいいと、美味しくないとこは手を出さなくても、市の方ももう少し間口を広げていただく様に、法人に頼んだり指導してもらえればいいと思います。一宮でいえばセットでという指導の仕方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>はい。そういう話はかなりしました。一宮北や戸原も出来ないだろうかとお願いしたのですが、やはり将来に亘っての経営ということを見ると、少し自信がないということで、手を挙げる保育所は無かったということです。</p>
副会長	<p>将来に亘って自信が無い、希望が持てないというのであれば、恐らく山間僻地は数的に将来展望が右肩上がりになるということは絶対考えられない。波賀も一緒だと思う。将来展望があるのか。</p>
事務局	<p>経営拡大をするということは、そういう点で少し不安があるということです。</p>
委員事務局	<p>山崎の地域の方の募集に対しての声はどんな感じですか。</p> <p>この取り組みの中で、山崎幼稚園や河東幼稚園の保護者と懇談をさせていただいたのですが、率直なところ平成21年に計画を公表してから学校規模適正化に併せて協議を進めてきた関係で、山崎ではこの様な説明会を持っていません。今回、公募のことがあってどういう状況なのかということでPTAとの懇談をさせていただいたのですが、具体的な、いつ、どこ</p>

委員	<p>で、どんな園を作りたいという案をお示しできていません。公募の中で6つの法人が意向を持たれていますので、よく話をして、具体的な案を作ってからご説明させていただきますと伝えています。</p>
事務局	<p>波賀でもこれだけ協議して、公募ができていない訳ですけど、山崎のお母さん達は、何も知らないのにそうやって公募をかけられて、決まりました。こことここがしますってなってから話を聞くって、それでいいんですかねえ。</p>
事務局	<p>山崎幼稚園、河東幼稚園でお話をさせていただいたのは、あくまで素案を作らせていただくということで、その内容を聞いていただいて、幼稚園を廃園することをどうするのかということは、その時に保護者の皆さんのご意見を聞いて決める話なので、決して教育委員会がこうしますということを決めるという訳ではありません。その辺はこれまでの進め方と変わらないのかなと思っています。</p>
委員	<p>今の話だと、公募をかけて手を挙げてくださったところがあって、でも、保護者が波賀みたいに反対して進まなくても、公募をかけたことに意味があるのですか。</p>
事務局	<p>それはそれで、地域の同意が得られなかった訳ですから、計画としては止まるべきだと思います。それを強引に進めるという風には考えていませんが、そういうことを起こしていかないと、平成 21 年に計画を策定してからなかなか進まないのが現状だと思います。</p>
委員	<p>波賀では、もし公募をかけても、保育園が今 1 園だし、そこがすると言われたら話は早いというイメージですが、山崎の様に広いところより、人数も少ない千種や波賀の方が進めやすいから先にするという風に感じます。公募をかけてから説明されるので、山崎とは話す順序が違います。</p>
事務局	<p>平成 21 年に計画を策定した後、一番初めには学校規模適正化と一緒に話を始めましたので、千種、波賀の順番で来た訳ですが、平成 21 年に 10 年計画で幼保一元化の方針で計画を策定し、そのことについては市内全部同じ様に進めますということになっています。それで、7年経ちましたが現状は今の状況ですので、その中でも少子化が結構進んできています。それで幼児教育・保育の環境を整備することは宍粟市としては重要な課題の 1 つなので、繰り返しどこでも申し上げていることですが、できるところから協議を始めさせていただくという観点で、今回の募集のことは今年度から方向を少し転換しようということです。非常に辛いのは、こうやって皆さんにお集まりいただいても、具体的なことをご説明ができないので、そのところをまずは提示をさせていただいて、そして皆さんの意見をお伺いする中で、実りのある協議をしていこうということを考えると、どうし</p>

<p>会 長</p>	<p>でも山崎の様に中学校区の中に3つ園を作るとしたら、どこどこにどんな園を作るんだということを提示できないと、なかなか協議が進みません。また場所のことも重要な課題だと思っています。教育委員会には、幼児教育・保育の環境を整えるという責任がありますので、それを果たすためにそういうことが必要という判断で取り組みをさせていただいています。</p> <p>よろしいですか。他にないようでしたら次の議題に移ります。公募の話の中ですが、前回から市内一斉公募ということで、事情で波賀だけ抜いた公募となっていますが、前回までも方向については、こども園に対する不安という中で慎重にしておくべきだという意見と、逆に公募して誰か決まってから、そこでどの様な園にするという案を聞きながら作っていくという2つの意見があったと思います。認定こども園がどんな形だということを見せるということは、平行して前に行かなければいけないのに、どちらかに絞って議論するという事はなかなか難しいのですが、その辺についても少し皆さんの意見がありましたらお願いします。これまで時間がかかり過ぎているのもう少しスピードを上げていくべきだという話もあるし、それぞれ色々な意見がある中で、整理した中では不安が大きいかなということで、前回、ガイドラインとか中身の説明をしてもらいまして、皆さんに一つ聞きたいのですが、ガイドラインでどんな園かということがある程度想像できたでしょうか。やはりあれでは掴めていないという、どちらの意見が多いかなと思ひまして。私にとっては、保育園の環境に加配があって人数が増える訳ですから、余裕ができて教育も受けられるという部分が、子ども達にとっては良くなるのかなというイメージを持っています。皆さんその辺で、何かあればお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>ガイドラインを紙で出してもらい、それは理解できるのですが、実際、千種もそうですが建ってみて、中身の部分というのが、今も言われた様に、公立でしょうが民間でしょうが同じですと言われても、私達からすれば同じには見えないし、子育てしている親からしたら、それが子どもに良いとも思えないです。</p>
<p>会 長</p>	<p>すみません。応えられたらでいいので、公立と民間とでは、何がどういう風に違うのですか。そこが私は理解できません。同じ資格を持った人が教育にあたるので、どういう環境が違うのか教えてもらいたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>幼児教育と保育というのも違うと思うし、今まで保育をされてきた方に幼児教育をしてもらうというのも、こちらにしわ寄せが来るのではないかということもありますし、私は幼稚園にしか預けたことがないので、保育所のことはあまり分かりませんが、色々話を聞いたりする中で、保育所の</p>

<p>会 長</p>	<p>お母さん達は保育所を選んであずけておられますし、私達は幼稚園を選んであずけていて、どちらも良いところがあると思うのですが、その選ぶ環境というのを置いておいて欲しいし、幼稚園の良さ、保育所の良さというのを減らす必要はないかなと思います。</p>
<p>委 員 事務局</p>	<p>その話は前に確認させてもらって、終わっていると思います。推進すべきという方向になっていると思います。現状から見て2園というのは難しいのではないのかという中で、1園が妥当ということが市の考え方になっています。そういう中で今の2園体制がベストという意見ですか。</p> <p>私はそう思います。</p> <p>非常に的を射たご意見をいただいていると思います。というのは、仰るとおりで、これまで保育園の経験しかないところに幼稚園の機能を持たせるということで検討しておりますので、当然平成 27 年から2年間の千種の取り組みを見ても、こども園が非常に努力をされています。保育教諭ということで、幼稚園免許と保育士の資格は学校を出る時に取得されて、国家資格をお持ちであっても、実際に幼稚園という教育の現場で働かれることが無かった先生がかなりいらっしゃいますので、そこが認定こども園になったことで、県や市が主催する幼児教育の研修会に積極的に参加をしていただいて、市から派遣をさせていただいている園長が中心になって、保育の質、幼児教育の質というものを向上させる努力をしていただいているという風に思っています。それで、山崎の方でも意見として、民間は民間の特色があって、習い事を積極的にやろうという園があったり、色々ある訳ですが、その特色自体を選んで通われているという環境があるのも事実ですが、こちらとしましては、保育園は保育園の特色、幼稚園は幼稚園の特色というものを、決して損なうのではなく、それぞれの良さを取り入れながら、こども園としてどういう風に運営をしていけるのか、先ほど公立と民間で同じ幼児教育ですと申し上げた訳ですが、それをどうやって保っていくかということが、これから新園の建設に向けて、千種の例で言うと、幼稚園の保護者と保育園の保護者が机を着き合わせて、どういう風にしていくか忌憚りの無い意見をいただいて、互いにこういうやり方がいいなということを決めていただいて、作り上げてきたことなので、それぞれの校区でそれぞれの当事者皆さんの意見を聞きながら、決して幼稚園を廃園にして今の民間の保育園にお願いしたいというのではなくて、両方一旦廃園をして、新しいこども園としてスタートするというので、これから協議をしていただこうということなので、皆さんの意見を取り入れた形で新しい園としてスタートができる形を整えたいという風に思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>今年度も何回も協議を重ねて来たのですが、やっぱりずっと平行線でした</p>

	<p>よね。やはりそこには課題が多かったのではないかと思います。前回もこども園の課題とかをお話していただいたのですが、やっぱりまだ見えてこない部分があるのではないかなと思います。選べる環境というのはすごく大事ですし、今年度ずっと同じ話し合いをしてきたので、今、波賀にとって1つの園にする時ではないのではないかと感じているのですが、例えば、南の方で公募をされているので、この会議の一番初めの方に配っていただいたと思うのですが、波賀はこども園ができれば、1つの園しかないので、やっぱり前が良かったとなっても、取り返しが付かないと思うのです。だけど、山崎の方で応募者の話も出ているので、まずは山崎の方でされているのをゆっくり見ながら考えていけばいいのではないかと感じています。人数がここに載っているのですが、来年度も幼稚園は23人でみどり保育園も41人居るので、少ないと見るか、多いと見るか、その辺りは個々の価値観によって違うと思うのですが、野尻幼稚園の場合だと、5人前後の人数で10年ぐらい運営されていましたよね。あれも、保護者の方から、早く波賀幼稚園にくっつけて欲しいという意見が出なかったのは、5人前後の人数でその良さを活かして来られたので、とってもいい幼稚園だったので、すぐに波賀と一緒にという風にならなかったと思うのです。なので、今現在この人数が居るのであれば、ずっと平行線のまま進むよりは、状況を見させてもらいながら、その時が来たらという風に準備の期間にする方がいいのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>今、もう少し様子を見てはどうかという意見がありましたが、何か他の意見がありましたらお願いします。</p> <p>私が小さい頃には幼稚園がない時代で、遊び相手は近くの子達で、小学校へ行き始めて色々と覚えたのは、同級生の子だったり、先輩だったり、授業だけではなく環境で色んなことを教えてもらったこともたくさんあります。当時は140～150人だったか、それぐらい大勢の人数で、ある程度かたまりの中で色んな子からそれぞれ得意なことを教えてもらったイメージが多いです。そういうことで1学年だけではなく、0歳から5歳のその様な環境の中に居ることも、周りを見て大きくなることもあるのかなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育委員会としましても色々と議論がありまして、幼児教育の中でも集団の保育は、やはり必要だろうということで、来年度よりあまり少なくなると、異年齢の保育ということで、4歳、5歳が一つになるケースも出てくるのが想定されます。既に4月以降に2園が4歳、5歳が一つになる幼稚園も出てきています。5人を切って4人になると、4歳、5歳の場合は一つになる方がいいだろうということで決定しています。</p>



<p>委員</p>	<p>先ほど会長さんの話にもありましたが、昔だったら異年齢で、近所のお兄ちゃんお姉ちゃんと、また年下の子達と一緒に遊ぶ機会があったと思いますが、今はそれが、近所の子どもも居ない様な状態で、波賀は幼稚園で3歳児保育が始まり保育所と幼稚園が1園ずつあり、親の共働きだったり、仕事に行くから保育所に預けたい、家に居るから午前中保育で迎えに行ってお昼からは世話ができるから幼稚園でいいとか、色んな理由があって預けているのですが、私は上二人を幼稚園にしか預けていないのですが、保育所では保護者が保育所に行って何か行事をすることは、幼稚園に比べたら少ないと思います。それに働いているお父さんとお母さんが多いので、そういうことがなかなか出来ないと思います。幼稚園の場合だと、保育所に預けている保護者の方よりは時間に余裕があるので、早く帰って来ても大丈夫な家庭なので、幼稚園に行って何かをするという時間は多いと思います。そういうのも含めて幼稚園に入れるか、保育所に入れるかということを考えていく人が居ると思うので、そう考えたら、地域の人と触れ合うことが多いと思います。私は上の子二人を幼稚園に入れてそういうところがすごく良かったと思い、お爺ちゃんお婆ちゃんに来てもらって畑のことを教えてもらったり、クッキングをしたり、お家のお爺ちゃんお婆ちゃんに来てもらい一緒に誕生日会をしたり、家の子を預けている時にはありました。その時は3歳児が3日しか行ってなかったですが、3歳、4歳、5歳児の3クラスでも十分上下関係や、その年齢でも上下関係を学ぶのかどうかということは先生方に聞いてみないと分かりませんが、そういうことも出来ていたし、地域の人と触れ合うことが多いだったので、そんな良いところが幼稚園にはあるのです。そういうことをさせたいけれど仕事もしないといけないから保育所に預けているという人も居るかもしれないし、そういうことを考えると、一つのこども園にする話が進む時は、そういうタイミングがあるのではないかと思います。今はこの状態で話が進まないというのは、みんながしようという話にならないからこの状態なので、何年か経ったら、もしかしたらやっぱりこども園にした方がいいのではないかという意見が出る時があるかもしれないし、ずっと同じ状態が続いているということは、今はまだその時ではないのではないかと思います。良い所もあるので、いくら子どもが少ないからといってそういうところを削るのは寂しいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域とのつながりの部分というのは、こども園の中でも、この協議の中でも非常に大切にしていきたいと思っている部分なので、それは当然波賀で唯一の幼児教育・保育施設になる訳ですから、波賀の地域に根付いて、連携を密にしながら小学校に接続をしていくという段階では、こういう場で</p>

<p>委員</p>	<p>皆さん異論はないはずですので、環境については幼稚園だから出来ていて保育園はそれが出来ないということではなくて、幼保一元化の中でしっかり担保していきたいという風に考えています。</p> <p>民間のこども園にしたら、職員の異動がないことが不安に思うところで、こどもはそれぞれ個性があって、幼児の時には特に個人差があるからこそ、職員の異動があって欲しいと思うのですが、もし、民間のこども園になれば、異動がないということなので経営者の考えが偏ってしまうというのが、考えるところですよ。民間のこども園で英語やスイミングを習わせたりして特色が出せるのは、良いなと思う方もいるかもしれませんが、それは、個人の家が行かせたらいいことで、そうではなく幼児の時は、個人個人を認めてあげて、その子の自尊心を育てることが一番大事だと思います。それは別に人数が少なくても出来ることで、そこを一番大事に考えてもらいたいと思います。人数が少ない少ないと言われ、少ないからどうしようと思いがちですが、人数が少なくてもその子その子を大事に見てくれて、地域のつながり、縦のつながりで心を育ててくれたら、その子は将来、波賀が良かった。波賀に戻ろうという子に育ってくれると思います。職員の異動がない民間よりも公立の方が良いなと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>職員の異動というのは、今、市になったからある程度広域異動ができたのですが、私は千種ですが、千種町時代には公立でも異動はなかった訳ですよ。逆に言えば、そこはやはり研修の方で力を入れていって、質を上げていくしかないかなと思います。また、経営者の考え方につきましては、ガイドライン等に謳っておりますように、しっかり皆さんで監視する四者協議会も設けようと思えば設けられますので、その辺りで意見を聞いてもらうことは可能かと考えております。ですから後はタイミングのところだけだと思います。教育委員会としては少数の人数よりも、ある程度の集団が必要と思っていますので、そこで、それが一人で良いのか、二人でいいのかということがありますけれど、やはり一定のこどもの数は確保して教育をするべきだと思っています。ですから、幼稚園を否定するものではなく、こども園にすることによって、幼稚園で今やっている良い所については全て、こども園でしっかりやればいいことなので、これから皆さんがこういうことをやってくださいということをやれば出来ることかなと思います。ただ、悲しいかな本当に人口が減っております。協議してもらった時からしても、波賀でも子どもの数が3分の2で、5年間で3分の1が減っている状況がありますので、今、このタイミングを逃されてもいいですが、次にやろうと思った時には2、3年はかかるので、そんな余裕はないのかなという危惧を持っています。</p>

委員	<p>子どもが減っているのは、数字を見てもすぐに分かるのですが、子どもが一人になっても園を継続してくださいと、そこまでは保護者の方とも言われなと思います。今、波賀や宍粟市で育てている子どもが大きくなって将来があると思いますが、その子ども達には、宍粟市でこれだけ人口が減ったという理由が大事で、今、宍粟市から出て行く人もたぶん多いと思います。波賀町から山崎へ出て行く人も多いと思います。そういうのでだんだん北部の方が早く子どもも減るし、宍粟市からも人がだんだん出て行くし、そういうところも大事で、今、育てている子どもが大きくなった時に、宍粟に波賀に千種に帰ってきて仕事をしようとなっても、その仕事をする環境が、これだけ園が減ってきたら、いくら自分が子どもが好きだからと資格を取ってきて、幼稚園や保育所で働きたいと思っても、働くところがなかったら帰って来ないでしょ。一つの園に先生を一人募集しますというところに大勢来ても、一人しか採ってもらえないのであれば、やはり宍粟から離れて先生をしたいからどこか下でしようとかになれば、だんだん人が出るばかりで、やはり今園を減らすということは大事なことでありますが、なぜ人が減っていくかというところから考えて欲しい。市も空き家バンクとか色々考えられています。将来のある子達が帰って来られる様なまちにしたいし、せっかく子どもを産んで、こうやって育てているのですが、その子達が出てしまったら寂しいし、かといって何人も産めないから、そういうところも考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今、仰ったとおりで、私は一宮北中校区ですが、そういった所から山崎へ出て子育てをされている方は実際にいらっしゃいます。だからこそ、今、幼保一元化で環境を整えてあげて、延長保育や一時保育など、地域の子育ての相談機能も持たせて、認定こども園で色々な多様な保護者のニーズに応えることのできる環境を作りたいと思っています。そのことで良ければ、山崎の方からでも波賀へ帰って来て子育てをここでしてみようと思ってもらえるような環境を作りたいということを目指して提案をさせていただいています。</p>
委員	<p>それなら、保育所と幼稚園があって、選ぶという方法もあると思います。山崎から一宮や波賀に帰って、幼稚園か保育所かを選ぶ選択肢があってもいいのではないですか。</p>
事務局	<p>認定こども園というのは、保育所の良い所と幼稚園の良い所を併せ持つ機能ということ、ずっと繰り返し説明させていただいていますので、十分お話にお応えできるものが作れるのではないかと考えています。</p>
委員 事務局	<p>千種のこども園には、幼稚園の園長先生が派遣されていますか。 今現在そうです。</p>

委 員	それで、杉の子さんの園長先生と幼稚園から入られた園長先生は、気を使いながらだと思いますが、こうしたいというしっかり意見を示し、言える環境にあるのですか。
事務局	それが言えなければ意味がありません。社会福祉法人の理事にも部長が入っていますし、地域の方がその園になるまで、これだけ協議をしてきたことなので、見守っていくというところがありますので、日頃から園と地域との交流もありますし、四者協議会というものを設置して、保護者や地域の意見を取り入れた園運営をするということになっていますので、そういった仕組みの中で、園の中で職員同士でも、同じ幼児教育・保育をする職員ばかりなので、意思の疎通は図っておられ、私が見る限りでは良い雰囲気です。幼稚園のことは初めてですが、この2年間の中で非常に自己研修もされ、質の高い幼児教育・保育をさせていただいていると評価はさせていただいています。私は専門ではないので具体的な中身は、福井副課長から教員の立場で何かあればお願いします。
事務局	今までにもこども園の様子はお伝えさせていただいていますが、先日、今年も生活発表会がありまして、よく心配されるのが、幼稚園部の子は先に帰って、保育園の長時間の子だけが練習したり、作ったりしているのではないですかということですが、そこははっきりと、午前中は幼児教育の部分、午後はあずかり保育の部分という風に、そういう園にしていこうと地域との協議の中で決めて進められていますので、園長先生は幼稚園で長年勤められていた方で、園長に聞いたところでは、職員には今までの保育園でやってきた観念を捨てようとはまでは言いませんが転換してください。ここはこども園ですということとやってきましたということです。
委 員	先ほど事務局の方から説明を受けて、今の様な説明は前回やこども園の視察にも行かせてもらって、千種の状況はなんとなくですが見えてきた部分もあるのですが、しばらく様子を見たいということですが、それは個人的な意見ではなくて、波賀幼稚園で話し合った意見でもありますし、あと、2園体制を維持して欲しいという意見も、特にこの場で反対は無かったのかなと思うのですが、事務局から説明を受けたところで、そういったことを今まで何回も何回も話してきて、それでもやっぱり進まなかったもので、山崎の方も様子を見たいということもあるので、しばらく様子を見たいということが幼稚園の意見です。確かにこども園を推進するという風な話になったと思いますが、それは、1年、2年ではなくて、まだ更に将来的なものだこちらは理解しています。今はそのタイミングではないという意見が、その通りかなと思います。
会 長	今の意見に対して意見がある方はいませんか。ないということは、これで

<p>委員</p>	<p>決まりということになってしまいます。</p> <p>意見がなければそのまま認めるというのは、ある意味あるのですが、それを言ってしまったらおしまいになる。それで、3ページのところで、在宅での波賀町の住民票で、例えば0歳児が何人の内1人が保育園に入ります。1歳児は何人の内5人とか、その辺りは分かるのですか。というのは、3歳、4歳、5歳の部分が波賀町の住民以上か同数か、一宮から波賀へ来る人や、波賀から千種へ行く人も居ると思いますが、何が言いたいのかといえば、0歳、1歳、2歳が本当に少なくなる中で、待つというそんな方法は出来ないのではないか。人数が少ない中で、2年も3年も様子を見て、やるとなれば今の幼稚園あるいは保育園で、認定こども園が全部こどもを集めても、スペースは十分にありますよとなりかねないのです。ある程度子どものために元々あるトイレや給食室も綺麗な環境にするということは考えないといけないし、かといって、「いやいやお前ら幼稚園は何を言っているのか。」ということはいいたくないけれど、それに近いことは思っている。先送り先送りにするのも程度があると思います。その辺りのことも自治会長さん達は全体を見た中での判断となるのではないですか。それぞれの言い分もあるけれど、やはり幼稚園もそのまま、保育園もそのままとなれば、幼保一元化を推進すると言ったことが出来なくなれば、極端に言えば、幼稚園の3歳児保育も元に戻しますということになるので、そんなことになってきたらまた大変なことになって来るし、その辺りの歩み寄りがもう少しあればと思います。保育園で幼児教育が絶対出来ないという想いが強すぎるのと、民間でもきっちりできるということをもう少し上手に説明してもらったら、絶対できないはずはないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>専門ではないのであまり突っ込んだことは分かりませんが、先日、幼稚園教育要領、保育所保育指針共に近々改定が行われるという報道がありましたが、報道の中では尖閣諸島のことであって、国旗を掲げましょうということ盛り込むということが出た時に、幼稚園教育要領と保育所保育指針の中では、教育と保育のところに差はないという、同じ目線で取り組んで行こうということが、国の中では出ていると思っています。それで、その様な環境の中で国の施策として、認定こども園が出てきたと思っています。</p>
<p>副会長</p>	<p>今、話をされています幼保一元化がスタートした定義というものを、みんながあまりよく分かっていないと思う。平成21年から10年かけて31年までをひとくくりでやろうという話の中で、今はその時ではないと言われますが、2年経ったらなるのか、3年経ったらなるのか分からないけれど、31年が来てその時にまとまらなかったらどうなるのか。</p>

事務局	<p>宍粟市としては、平成21年の時に10年計画ということで、計画を示させていただいているのですが、一昨年の議会での質問があった中で、計画期間を延長してでも引き続き取り組むということをお願いしています。</p>
副会長	<p>10年過ぎても延長はあるということですね。これは宍粟市や兵庫県だけではなく、幼保一元化というのは国のレベルで進んできている話でしょ。</p>
事務局	<p>先ほど申し上げた、教育要領や保育指針までも巻き込む中で、認定こども園という仕組みが昔はなかったのですが、平成18年に法制化され、出た新しい仕組みなのですが、これまでの文部科学省の幼稚園と厚生労働省の保育所で、その垣根を越えて、これからの日本全体の人口が、少子化で減っていく中で、幼児教育・保育を考えて行こうということで、認定こども園というものが出来て、それでも賛否両論があり、なかなか定着しなかったところに、平成27年の子ども子育て新制度がスタートして、平成27年4月に法が大幅に改正されて、幼保連携型認定こども園は学校教育法に定める学校施設の位置付けを与えられて今に至っています。ですからご指摘のように、平成21年に宍粟市教育委員会が幼保一元化によって幼児教育・保育の環境を整備して行こうという方針を立てた訳ですが、国の方も同じように平成27年には法を改正して幼保連携型認定こども園は学校施設ですという整理で、取り組みを強化し、更にこれからの改定をする幼稚園教育要領や保育所保育指針のところで、保育の目線というものを合わせようとしています。ですから方向性としては国と同じ方向を向いていると評価をさせていただいています。</p>
副会長	<p>今の話の中で、別に10年計画でまとまらなければ、引き続き継続延長するというので、そんなことを言い出すと、いつがその時期なのかとみんなが判断できるのか。幼稚園ではそのタイミングではないと言うし、誰がそのタイミングを作るのか。</p>
委員	<p>それはその時の幼稚園の保護者であったり、保育所の保護者でいいのではないかと思います。</p>
副会長	<p>僕が思うのは、県も市もそうだが、骨太の方針で決めたのなら、あくまで定義は定義で理解をしてもらい、説明責任を果たして欲しい。それがやはりこの会議を2年間しているが少しも進まない。年度末なのでこのメンバーも代わるでしょうけれど、こんなことを1からやっても、また同じことの繰り返しになるので、最終的に今言われている、幼稚園の良い所と保育園の良い所をもっともっとすり合わせをして、妥協しながらでも前に進む話をしなければ、それぞれの理想論と思いばかり言っても、僕らもそうでしたが、生まれる家や学校の先生や学校や幼稚園などは、そんなに選択肢はなかった。選択肢がたくさんあれば自分が行きたい方へ行けるの</p>

	<p>で行こうとか、ここは幼稚園なので行こうとか、子どもが二人居るが、一人はみどり保育所に入れました。一人は保育園に入れずにいきなり幼稚園に入れました。やっぱりどちらも良い所もあるし悪い所もある。それはそれぞれ家の都合であったり、それぞれの想いで、間口の選択肢はあるかもしれないが、選択肢が欲しいと言われても市域的に見ても難しい。東京とは状況が違う。こういうあり方というのは、僕らは専門ではないので分かりませんが、間口を広げて教育委員会が、今言われたような意見をしっかり聞いて、それをすり合わせて終着地点を見つけようとしたら、難しいのは難しいけれど、終わりがなくずるずる引っ張るのではれば、2年経っても3年経っても一緒だと思う。それはこども園として一緒に協力して子ども達の中で、自分達が許せる範囲で妥協をしてでも協力して、こども園にしていきましょうということになっているのではないのか。そう理解しているのですが、今日の話の中でそれぞれが色々と言い出したら同じことになるし、年度末で次の会がどうなるか分かりませんが、できれば良い方向での英知が固まってくれば良いなと思いますが、本当はガイドラインをこの場で示してもらい、条件闘争ではないですが、そんなことをしたらいいのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>今、副会長が言われましたが、行ったり戻ったりでなかなか前に行かないですが、確かに環境が変わったり新しいものを作っていくことは難しいことだと思います。一つ子ども達のクラブ活動に例えると、もっと冒険するか、色んなことにチャレンジさせようとすると思いますが、この頃見ていたら、親の方が後ろばかり向いているのかなという感じがします。慎重といえば慎重ですが、もう少し夢を持った、こんな園にしたいという話にならないかなというのが私の感覚です。保育園の方の発言がないですが、何かありましたら発言をお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>保育所側はなる様にしかならないという部分があって、幼稚園にあずけたくてもあずけられない経済的や家族の状況もあるので、保育所にしかあずけられないのですが、選択肢がある方は選択肢が欲しいと言われているので、個人的な意見ですが、こういう委員会を作る前に、教育委員会が幼稚園に度々足を運んで説得をして、幼稚園のお父さんお母さんが話を進めようと言いついてから、こういう場を作って行かないと、結局代表だけの意見になってしまい、みんなの意見ではないような気がします。なので、この場の前がまだ全然できていない様な気がします。31年までに時間がないのかもしれませんが、それが延長できるのであれば、度々足を運んであげてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>私の進め方も悪く申し訳ないのですが、少し目的と手段が一緒になってい</p>

	<p>て、決してこども園が作りたいという訳ではなく、多様な家庭やニーズがあって、そこに応えられる子育てができる施設を、この波賀の地域に作らせていただきたいということが目的です。保育園の保護者の方にとっても、早朝保育、延長保育、あるいは通園バスのことであつたり、幼稚園の方でも一時あずかりや、幼稚園の午後のあずかりであつたり、決して今の環境で満足されていないと思うのです。ですから、今から子どもを産み育てる方の子育てを全面的にバックアップと支援をして、多様なニーズに応えられるそんなサービスと環境を整えさせていただきたいという趣旨で図らせていただいていることなので、保育園がどうか、幼稚園がどうかということではなく、その必要性について皆さんのご意見をいただきたいと思っています。こども園にしたらどうなるかという点については、私の説明が不足しているところがあるかと思いますが、あとは、地域として必要性があるかどうかということは皆さんで議論をしていただくということが必要ではないかと思しますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>話をさせていただいている中で、幼稚園側がどうか、保育園側がどうかではなく、今、言われているのは、色んな意見や、みんなそれぞれ生き方みたいなものがあって、気持ちの整理が付きにくいのは、イメージが掴めない面があると思うのですが、今後の波賀町の幼児教育はこんな風にやっていくということが、ある程度は教育委員会の方が言われるのですが、具体的にならないので、やはり今までは千種とか一宮北とか波賀とか北部の僻地に対するこども園のあり方でしたが、今、保護者の方が言われているのを聞けば、山崎の方でもようやく公募もされて、今から進んでいくことが見えてくるので、そういうのを見てみたいという想いもあるだろうと思います。だから、後ろを向いている訳ではなく、波賀の子ども達の今後の幼児教育のあり方みたいなものは、それぞれが一生懸命考えた中で言われていると思います。今まで北部だけだったものが、ようやく南部にも火が付き始めて、どうなっていくのかを見せてもらいたいという想いで待ちたいと言われているのかなと思います。私自身もそういう風に思います。これから人数がどんどん減っていくという危機感があると思いますが、その危機感を超えてでも、やはり良いものを作るために、市のこれからの進め方を見せてもらいたいという想いを持っています。</p>
<p>会 長</p>	<p>一つ聞きたいのですが、長年幼児教育をされていたと思いますが、どういう風なものを作ったらいいのか、みんなに分かる様な形での像はお持ちではないですか。分かりにくいという中で、この様な形のものが素晴らしいのではないかとこのものがあれば教えていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>やはり、保育所の機能と幼稚園の機能を一つに合わせるということの問題</p>



	<p>は、公立だから民間だから難しいというのではなく、公立でも民間でも大勢が集るから良いというものではないと思うので、その中での 0 歳から 5 歳の波賀町の全ての子が、保育に欠ける子も欠けない子もみんな一度に過ごすということのメリット・デメリットみたいなものがあるので、それを、この様にとすることはやはり本当に難しい。</p>
<p>会 長</p>	<p>そういうことをもっとメリッ的にはこうとか、デメリットではこんなことがあるということが出てくれば、違う形が見えてくるのかなと思うのですが。</p>
<p>委 員</p>	<p>それが、今、千種の中でも検証されていますし、南部の方でも今からなので、では波賀は子どもが少ないので GO かというのは、皆さんがそれぞれ言われているのを聞いていると、今ではないというのは、後ろを向いているのではなく、決まれば波賀は進むのが早いと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>後ろを向いているというのは、こんな園が良いなという想いが何も出てこなかったの、それに対して後ろ向きという表現をしたのです。今まで何回か投げかけさせていただきましたが、どんな園にしたいか、心配事は何かとか、色んなことを聞いたけれど、具体的なことが何も出てこなかったの、後ろ向きという言い方をしましたが、それに対して皆さんに害なことがあれば謝りたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>今からは、そういうことを見せてもらえる良い機会になったのかなと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>色んな認定こども園がありますが、全国的に保育園側がしているところと、幼稚園側がこども園をしているところがあって、やっぱり保育園側がこども園になったところは、どうしても保育園のやり方が前面的に出ているらしいです。幼稚園ばかりしているところは、保育所の機能がちょっと薄くなって、幼稚園を前面に出してきているという話を聞きます。宍粟の場合は、千種がしたところへ一度見せてもらったのですが、やはり保育所の機能の方が前面に出ているなと感じました。だから今からしてもらうのであれば、幼稚園の機能もきっちり持って、午前中は幼児教育をしっかりして、午後はあずかり保育の部分でと仰いましたが、前回見たのでは保育所の色の方が濃いなあと思ってしまいました。その辺をしっかりと話し合いしながら、進めていけば私達が理想としている幼児、乳児の保育ができるのではないかと思います。最初からこういう保育、こども園が良いなと思っていたのですが、今からそれを話し合うのかと思うと、もう推進しますと決まってしまってから、ちょっと考えが変わってきたのですが、子育ての方が言われたように、民営化になってしまえば経営者の独自性がどうしても出てくる様な気がします。本当に宍粟の保育をよく見ていただ</p>

	<p>いて、独自性も大事ですが、本当に宍粟で産みたい子育てがしたいと思える様な認定こども園を作って欲しいとすごく思っています。今、もう少し待って欲しいと言われる時に、やっぱり推進しましょう。進めましょうとなれば、長い間培ってきた宍粟の幼児教育が、後退することになります。今の私達が置かれている立場はすごく責任を感じるので、もう少し待つ様子を見させてくださいという意見は大事にした方がいいのではないかと思います。同じことの堂々巡りになったのですが、無駄ではなかったと思います。一生懸命考えて、皆さんの意見も聞けましたし、宍粟市からもたくさん説明をしてくださいますが、ガイドラインというものは、耳で聞いて紙で見たものではないと思います。見えない。見えないと言われるのは、いくら説明してもらっても本当は見えないと思います。</p>
<p>委 員 事務局 委 員</p>	<p>今日は最後なのでしょうか。</p> <p>そういう訳ではありません。今年度は最後になるかもしれません。</p> <p>先程少し話があったのですが、意見を言わないのが承認しているとか、了解しているという訳ではないです。言いたくても言えない人もあるし、今の立場で僕達にすると、父兄の方や色々な方の意見をもう一度聞いてみようということで、そういうこともあるなと思いながら聞いていた訳ですが、それを、話したことに意見が無かったので誰もが承諾しているというやり方は問題かなと思います。今日は、あえて言わせてもらいますが、前に私の方も中身が分かりにくい部分もありますが、出来るだけ公募をしてもらったらいいと言わせてもらいました。今回どんな形でこの会議が終わるのか分からないですが、色々な意見の中で賛成の人もあるし、もう少し慎重にした方が良いという意見もあります。PTAの方は前に話をされていた中に、先延ばしにしたらいいのではないかという意見もあるので、そんな中で、今回のことがどういう終わりになるかということをお聞きしたい。協議を終わるのか、継続して来年度も協議を続けるのか。</p>
<p>会 長</p>	<p>今後の進め方ということで、公募のところから次に行かなかったけれど、公募については、皆さんは今の状況では、やってもいいという方向にはなかなか向かないのではないかと思います。もう少し協議が必要という風に理解させてもらってもよろしいですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>このまま協議を続けてもどうかと思います。今年度の始まりから幼稚園側の代表として来ているけれど、私達の子どもはもう卒業して小学生になってしまうので、小さいお子さんが居られる方とかそういう方の意見を聞いて、この場で伝えるという形を取っているのですが、今年度のスタートから「今のままで十分満足しています。人数的なことを言われていますが、このままでいい。」という保護者の方の意見だったので、進まない原因の</p>

	<p>1つでもあると思います。このまま来年度になって進めていくという形よりも、この場にみんなが集まる前に幼稚園の意見や子育ての意見や保育園の意見が、もう一度協議を進めて欲しいというタイミングが来た時に、進める方が良いのではないかと思います。というのは、野原小学校でこうする時も、何回も保護者で集まりました。子ども達も残して欲しい。親も残して欲しいということがあって、でもいよいよ本当に人数が少なくなってきた時に、残して欲しいけれど、仕方がないということになった経緯がありました。それで、保護者も納得し、子ども達も仕方がないということになって、合併ということになったのです。それで親も子どもも納得して合併の方に向いたと思うのですが、なんかこの委員会もこのまま協議を続けるのではなく、事前にそんな会を開いておいて、本当に必要になった時、みんなの意見が合った時に、スタートしたらいいのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>今言われました意見ですが、もう少し次回まで委員会を開かずに、前回の様に協議を止めて進めるのか、それとも委員会は残しておいて、協議の仕方自体をもう少し具体的にそれぞれの想いが伝わりやすい環境で、代表だけではなく、もう少し世代世代にそんな話をする場を持って、全体に諮るのがいいのか、そういう風にやり方は色々あると思います。そこで、言われたとおり、ここだけで集ってもなかなか前に行かない状況と、教育委員会から得られるのは、これからだと公募の状況や、公募してからより進めていく状況を聞くということぐらいしかないとかなと思うので、あまり短い間で情報が入ってくる感じには思えない。皆さんに諮りたいのですが、委員会を残しておいて、先程言われた様な環境を作る場にした方がいいのか、委員会を閉じた方がいいのか、その辺について意見を聞かせていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>何回も同じことを言うようになりますが、波賀幼稚園で話し合った結果としては、2年間程度、山崎のことも含めて様子を見たいということなので、波賀幼稚園としては状況を見つつ、情報を逐次入れてもらいたいという部分はありますが、1回閉じてもらってもいいのではないかと思います。</p>
<p>会 長 委 員</p>	<p>他に違う意見の方はお願いします。 私は役員が代わっても設置はしておくべきだと思う。というのは、前回も閉じた時に変なことになった部分もあるので、残しておいて欲しい。幼稚園の意見は出たけれど、保育園の意見はどうでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>先程も言わせてもらいましたが、こういう会が、例えば第1回目で場所をどこにしましょう。ということになり、前に進む会議になるのであれば、</p>

	<p>このまま継続をしてもいいと思いますが、堂々巡りであれば閉じてもいいのではないかと、僕は思います。家も次に小学生になるので、幼保の話に携われなくなります。無責任な発言だけしないように思っていることは、例えば今日が14回目の会議ですが、15回目の会議が次は場所をここにしましょう。16回目がどんな建物にしましょう。17回目は幼稚園のお子さんとは何時から何時にしましょう。保育所のお子さんは何時から何時まで見ましょうという、1回1回がそんな会議になっていくのであれば続けたいと思います。今の状況では15回目も堂々巡りになると思うので、様子を見たいとみんなが仰っているので、できればそれでストップするのではなく、15回目に向けてのより良い会議ができる様に、しばらくストップでもいいのではないのでしょうか。15回目が前に進む会議になるための凍結ならいいのではないですか。</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>今後進めるうえで事務局はどの様に考えておられますか。 なかなか進んだ会議ができていないのが事実ですが、市全体としては進むというふうに思っています。その情報を伝えたいと思いますので、この会は、回数が減るかもしれませんが、継続して開催していただきたいということを事務局として思っています。保育所の会長が言われた様に1つずつ決めていくことができればいいのですが、まだその段階ではないということが非常に心苦しいところですが、市内の情報をお知らせして、こんな風になっているということを知っていただくことも、こども園への不安を解消する1つかなと思っていますので、継続することを事務局としてお願いしたいところです。</p>
<p>会 長</p>	<p>世代毎に話し合う機会を作って行こうとすることは、委員会を閉鎖したら教育委員会が進めることになりますが、委員会を残して、その中に入って話を聞いてみようという形であれば、委員会を残してその委員も何人か入って、世代のことを聞くということもできると思います。今までみたいなパターンで進めてもなかなか前に進まないの、そんなやり方というものも検討して、色々な人の意見を聞く場を作って出向いて行くということもありかなと思います。それについてはいかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長が言われたように、全体の場での説明ではなく、個々の会合での説明ということで、不安が解消できたり、色々問題点を説明できるのであれば、そういう場を持っていただきたいというのが教育委員会の想いです。</p>
<p>会 長</p>	<p>子育て世代の方はどうでしょうか。幼稚園の方は一度閉じて出直した方がいいのではないかとされています。委員会も何人かは役を交代される方が居られると思いますが、委員会は継続して役を交代しながら、情報を得たい時は委員会を開いて情報を得るのか、委員会を通じてどこかの世代と</p>

<p>委員</p>	<p>話を聞こうということになればそんな場を作るとか、そんな情報収集するための場もこれから考えて行かなければいけないのかなと思います。</p> <p>子育てグループも、幼稚園で3歳児が始まったので、グループの子どもも年齢が低くなり、実際私も子育てグループが終わりですが、委員が交代したからまた1からというのもどうかと思うので、各団体で引継ぎが必要だと思いますが、委員会に1つだけお願いしておきたいのは、もし次に話をされるのであれば、千種でこども園をされていますが、その情報が全く無く、今、どういう感じで進んでいるのかということが分かりません。文書でこんな感じだというのをもらったり、発表会を合同でされているのをテレビで見たりしましたが、難しいかもしれませんが、こども園がどういう風に行っているかということイメージできるような情報をお願いしたい。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>見に行ってもらうのが1番いいかもしれません。</p> <p>そういう機会もあまりなかったので、踏み込んで足が出ないということがあるのではないかと思います。子育て世代は今から入れる側なので、そういうところも見せていただきたい。お母さんが子どもを連れて見学に行くということも、なかなかできないことなので、本当はどうなのかというところを、言いにくいかもしれませんが、千種の保護者さんが、こういうところをこうしたいですとか、今、こういう状態でこういう雰囲気ですということが分かれば、なんとなくイメージできるのではないかと思います。</p> <p>かといって、それを波賀でしましょう。というのではなくて、資料として見せていただければありがたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>波賀の子育てグループで機会を作っていただけるようでしたら、私が責任を持って調整させていただきます。ただ、千種の子育てグループが同じように意見交換に応じていただけるかどうかは、相手があることなので分かりませんが、こども園を見るということについては、調整はさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>こども園にしても保育園、幼稚園もそうですが、もちろんオープンにして地域に見学してもらうことは非常に大切なことですが、やはり時期的なことや、小さい子ども達を保育しているところなので、オープンデーとかであれば、その日はたくさんのお客さんが来られる日ということで、子ども達も承知して、皆さんが来られても普段どおりに遊んだり、見てもらうことができると思いますが、日常的に誰でも来てくださいというのは、保護者にしても、自分達の子どもの見に来る他に色んな人達が来ていくなれば、どういう風な印象を受けられるのかという心配もあって、園長先生にしても、いつでも誰でも来てくださいということは、なかなか言えない事情があるので、オープンにしている時に来て欲しいと言われていましたの</p>

	<p>で、そのところをご理解いただきたいと思います。普段の生活を見ないと普段の様子が分からないと言われるのは、とてもよく分かるのですが、普段の園の生活によりやく慣れたということや、大きい子達もみんなで話し合っ、葛藤したり切磋琢磨しながら一生懸命することを育てているところもあるので、こども未来課と園長で調整をさせていただきますが、受入れる体制もご理解いただきたいと思います。</p>
会 長	<p>先程言いました、この委員会をどうするのかということですが、私の意見としては、これからの市の動きが出てくると思うので、やはり情報を受ける場というものは残しておいた方がいいのではないかと思います。今までは3ヶ月に1回とかの程度でありましたが、その辺はもう少しゆっくりしてもいいのではないかと思います。もう1つは、何かこういうことを検討したらどうだろうという提案があった場合に、委員会があれば対応できるので、委員会は残して必要な時に開いてできる様な形になればいいのかなと思っていますがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>幼稚園の方は閉じてと言われましたが、私も会長が言われたように場として残してはと思います。それで、なるべくきっちりして欲しいのは、引き継ぎをしっかりと、資料をもらっていないということがないように、なければコピーをするなどをして、引き継ぎをお願いします。</p>
会 長 委 員	<p>幼稚園の方はどうですか。残すということに抵抗はありますか。 初めに1年の方向性を決めるというか、保護者も代わるので、本当に幼稚園も人数が気になるという声が大きくなるという可能性もあるので、その時に前に進むというか、1年の初めに委員会の方向性を決める会を開いてもらえたらいいと思います。引き継ぎのことも言われましたが、来年度に集った時に全員が新しくなってもどうなのかと思うので、各団体で1人ぐらいいは残って、第1回目の会には、引き継ぎとして何かをしてもらえたらいいと思います。</p>
会 長	<p>早くても第1回目の会は5月か6月頃になると思います。もし役員が交代される場合は、事務局に委員の変更の手続きを取ってもらわなければいけないと思うので、団体の中で教育委員会に交代の報告をお願いします。 委員会は残すということで異議はありませんか。それでは委員会は残すということで、初回の集まりで、前回は旧の委員さんも出てもらったのですが、次も旧の委員さんも出てもらいますか。そこを決めておきたいのですがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>前年度と同じように、第1回目は旧の役員さんもみんな出てもらった方がいいと思います。</p>
会 長	<p>それではそういう方向で、29年度に入ってから第1回目は、役員の交</p>

事務局	<p>代等もあるので、新旧の委員さんで引き継ぎも兼ねて方向性を決めるということでお願いします。他に委員さんから何か意見がありましたらお願いします。なければこれで協議事項は終わりとさせていただきます。</p> <p>それでは、長時間に亘りご協議いただきありがとうございました。最後に閉会を黒田副会長よろしくお願いします。</p>
副会長	<p>今もありましたとおり、この委員会は残すということで、公募の関係もあるので、宍粟市全体の状況を見ながら、この会で情報交換や情報共有をしながら行けたらいいと思いますので、次回もあるということです。概ねこの中で役員さんも代わられますし、我々だけではなく教育委員会の方も人事異動があるかも分かりませんので、その辺りを上手に引き継ぎながら、今は途中なので、何とか全員が良かったと思えるようになるまで、引き続き頑張って継続していきたいと思います。是非それぞれの立場でご理解とご協力をよろしくお願いします。今日はありがとうございました。</p>